様式-3

品質管理実施状況説明書（Ａ）

1. 認証を受けようとする鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項

（１）沿革

（２）工場内の配置図

（３）従業員数

（４）組織図

（５）最近６か月間の月別生産量

（６）社内規格一覧表

（７）工程の概要図

２．品質管理に関すること

　（１）認証に係る鉱工業品の品質、検査及び保管に関する事項（別紙２－１）

　（２）資材の品質、検査及び保管に関する事項（別紙２－２）

　（３）工程ごとの管理項目及びその管理方法、品質特性及びその検査方法並びに作業方法に関する

　　　　事項（別紙２－３）

　（４）製造設備又は加工設備及び検査設備の管理に関する事項（別紙２－４）

　（５）外注管理に関する事項（別紙２－５）

　（６）苦情処理に関する事項（別紙２－６）

　（７）社内規格が適切に見直されており、かつ、就業者に十分周知されていること。（別紙２－７）

３．鉱工業品の包装等に付す表示の態様（別紙３）

４．品質管理責任者に関する事項（別紙４）

（別紙２－１）

（１）認証に係る鉱工業品の品質、検査及び保管に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 日本産業規格の番号及び名称 | ＪＩＳ　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 品質特性 | 製品（加工品）規格 | 製品（加工品）検査方法 |
|  |  |  |

注（イ）「品質特性」の欄は、社内規格に規定している品質について記入する。

なお、本機構が定める審査基準に規定がある品質は、必ず記入する。

　（ロ）「製品（加工品）規格」の欄は、社内規格値を、また、「製品（加工品）検査方法」の欄は、

品質ごとに社内規格に規定している検査方法（全数検査又は抜取検査の別。また、抜取検査

の場合はロットの大きさ（N）、サンプルの大きさ（n）、ロット判定基準，不合格ロットの処

置等）を記入する。

なお、本機構が定める審査基準に規定がある製品（加工品）検査方法は、必ず記入する。

また、最近6か月の品質管理の状況がわかるような記録を付記する。この場合できるだけ、

月ごとのヒストグラム、月ごとの*Ｘ*－Ｒ管理図、月ごとの不良率等を品質特性ごとに付記し、

ヒストグラムにはサンプルの数、平均値、標準偏差、該当するＪＩＳの規格値及び社内規格

値を、不良率にはロットの大きさ（N）、サンプルの大きさ（n）及び合否判定基準を明記す

る。

　なお、品質記録は、量産試作品によるデータ（設計試作品は不可）でもよい。

（別紙２－２）

（２）資材の品質、検査及び保管に関する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資材名(製造業者名) | 資材の品質 | 受入検査方法 | 保管方法 |
|  |  |  |  |

注（イ）「資材名」の欄は、主材料、部品及び副資材について社内規定に規定している資材について

記入する。

　　　　なお、本機構が定める審査基準に規定がある原材料は、必ず記入する。

　　　　また、資材名の下に括弧書きで当該資材の製造業者名（銘柄でもよい。）を記入する。

　（ロ）「資材の品質」の欄は、資材ごとに社内規格に規定している品質項目及びその規定値等を記

入する。

　　　　なお、本機構が定める審査基準に規定がある品質項目は、必ず記入し、その品質項目につい

て社内規格に規定している規定値等を記入する。ただし、同一原材料で種類が多い場合には、

代表的なものについて記入すればよい。

　（ハ）「受入検査方法」の欄は、資材ごとにその方法（全数検査又は抜取検査の別。また、抜取検

査の場合には、ロットの大きさ（N）、サンプルの大きさ（n）、ロット判定基準、不合格ロッ

トの処理等）を記入する。

なお、本機構が定める審査基準に規定がある受入検査方法は、必ず記入する。

　（ニ）「保管方法」の欄は、（イ）で記載した資材ごとに社内規格に規定している保管方法について

記入する。

なお、本機構が定める審査基準に規定がある保管方法は、必ず記入する。

（別紙２－３）

（３）工程ごとの管理項目及びその管理方法、品質特性及びその検査方法並びに作業方法に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程名 | 管理項目及び品質特性 | 管理方法及び検査方法 |
|  |  |  |

注（イ）「工程名」の欄は、社内規格に規定している工程について記入する。

　　　　なお、本機構が定める審査基準に規定がある工程は、必ず記入する。

　　　　ただし、本機構が定める審査基準に規定している工程のうち、まとめて一つの工程としてい

る場合には、工程名の下に括弧書きで、本機構が定める審査基準に規定している工程名を記

入する。工程の一部を外注工場で行っている場合には、として工程名の前に記入する。

　（ロ）「管理項目及び品質特性」の欄は、社内規格に規定している管理項目及び品質特性及びその

規定値等を記入する。

管理項目については、温度、圧力、主軸の振れ等、品質に影響を与える要因のうち、管理の

対象としている項目及びその規定値等を記入する。

また、品質特性については、硬さ、引張強さ等について、その品質特性及びその規定値等を

記入する。

　（ハ）「管理方法及び検査方法」の欄は、（ロ）に記載した「管理項目及び品質特性」に対応する社

内規格に規定している管理方法及び検査方法を記入する。

　　　　なお、本機構が定める審査基準に規定がある管理方法及び検査方法は、必ず記入する。

　　　　また、管理方法については、管理項目ごとに管理の頻度、時期、サンプルの大きさ、管理図

の種類等を記入し、検査方法については、品質特性ごとに全数検査又は抜取検査の別（抜取

検査の場合は、ロットの大きさ（N）、サンプルの大きさ（n）、ロット判定基準、不合格ロッ

トの処置等）を記入する。

（別紙２－４）

（４）製造設備又は加工設備及び検査設備の管理に関する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主要製造（加工）設備の名称（形式、銘柄） | 台数 | 　　公称能力（容量、精度等） | 設備管理 |
| 点検又は検査の箇所・項目 | 点検又は検査の周期 |
|  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主要試験・検査設備　　　の名称　（形式、銘柄） | 台数 | 公称能力（容量、精度等） | 設備管理 |
| 点検又は検査の箇所・項目 | 点検又は検査の周期 |
|  |  |  |  |  |

注（イ）「主要試験・検査設備の名称」の欄は、使用している試験・検査設備のうち、社内規格で設

備管理を規定している試験・検査設備名を記入する。

なお、本機構が定める審査基準に規定がある試験・検査設備は、必ず記入する。ただし、主

要試験・検査整備が本機構が定める審査基準に規定しているものを二つ以上兼用している場

合には、主要試験・検査設備の下に括弧書きで、それらの名称を記入する。

また、主要試験・検査設備が外注工場にある場合には、として設備の名称の前に記入する。

（ロ）「設備管理」の欄は、主要試験・検査設備ごとに社内規格に規定している点検又は検査の箇

所・項目及び周期を記入する。

なお、点検又は検査を外部に依頼している場合には、点検又は検査の箇所・項目の下に括弧

書きで依頼先の名称を記入する。

（別紙２－５）

（５）外注管理（製造若しくは加工、検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合にお

ける当該発注に係る管理をいう。）に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 外注状況 | 外注管理 |
| 工程名又は試験・検査項目 | 外注率（％） | 外注先（名称及び住所） | 管理項目及び品質特性 | 管理方法及び検査方法 |
|  |  |  |  |  |

注（イ）製品の製造工程の一部について加工品質、加工条件等の仕様を示して他の業者に加工を依頼

している場合及び製品の品質の試験・検査を他に依頼している場合に、その状況について記

入する。

　（ロ）「外注率」の欄は、認証に係る工場又は事業場及び外注先における当該工程の加工の合計に

対する外注先における当該工程の加工の割合を記入する。

なお、試験・検査については、外注率の欄は記入しなくてもよい。

　（ハ）「外注管理」の欄は、次により記入する。

　　　　(a) 製造工程の一部及びその工程に付帯する管理について他の業者に加工を依頼している

 場合。

　　　　　(1)「管理項目及び品質特性」の欄は、その工程における管理項目（加工条件）及び品質

特性（加工品質）並びにそれらの規定値等を記入する。

　　　　　(2)「管理方法及び検査方法」の欄は、管理項目及び品質特性に対応する管理方法及び検

査方法を記入する。なお、管理方法及び検査方法の実施状況の確認方法についても記

入する。

(b)製品の試験・検査の一部を他に依頼している場合。

　　　　　(1)「管理項目及び品質特性」の欄は、試験・検査の項目を記入する。

　　　　　(2)「管理方法及び検査方法」の欄は、試験・検査を依頼する周期及びサンプル数を記入

する。

（別紙２－６）

（６）苦情処理に関する事項

|  |
| --- |
| 苦情処理 |
|  |

注　（イ）「苦情処理」の欄は、社内規定に規定している苦情処理フロー図（系統図）を記入する。

（別紙２－７）

（７）社内規格が適切に見直されており、かつ、就業者に十分周知されていること。

|  |
| --- |
| 社内規格の見直しと就業者への周知 |
|  |

（別紙３）

３．鉱工業品の包装等に付す表示の態様

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日本産業規格の番号、名称及び等級又は種類 | 表示を付す商品（加工品）の単位 | 表示場所 | 表示の方法及び付記の方法 | 表示事項及び付記事項 |
|  |  |  |  |  |
| （例） |

注（イ）認証申請に係る製品の該当ＪＩＳにおいて表示すべきものとして定める事項及び本機構が認

証申請に係る製品について表示すべきものとして定める事項について、認証を受けた場合に

おいて製品又はその包装、容器若しくは送り状に付すこととしているものを具体的に記入する。

　（ロ）「表示を付す製品（加工品）の単位」の欄は、「一製品ごと」、「一包装ごと」など、表示を付

す単位を記入する。

　（ハ）「表示場所」の欄は、「表面」、「外部」等表示を付す場所を記入する。

　（ニ）「表示の方法及び付記の方法」の欄は、「印刷する。」、「押印する。」、「証紙を付ける。」など、

表示を付す方法を記入する。

　（ホ）「表示事項及び付記事項」の欄は、ＪＩＳマーク，認証番号、製造年月日、名称、ＪＩＳの

種類、等級など、表示する事項をあげ、かつ、その内容を記入する。この場合、「ＪＩＳマ

ーク直径１０ミリメートル」、「製造業者名　○○株式会社」のように表示事項及び付記事項

と内容を対応させて記入する。

（別紙４）

４．品質管理責任者に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 事　　項 | 内　　　　　容 |
| (ふりがな)(1)氏　　名 | （姓） | （名） |
| (2)生年月日 | 明・大・昭・平　　　　　　　年　　月　　日 |
| (3)職名 |  |
| (4)最終学歴 |  |
| (5)認証を受けようとする鉱工業品の製造に必要な技術に関する実務経験 |
| 企業名 | 所属部署 | 通算経験年数　　　　年 |
| 期間 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| (6)標準化及び品質管理に関する実務経験 |
| 企業名 | 所属部署 | 通算経験年数　　　　年 |
| 期間 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| (7)標準化及び品質管理に関する専門知識の修得状況（次のイ、ロ、ハの該当する箇所に記入すること。）イ．大学において履修 |
| 大学名 | 学部学科名 | 卒業年 | 履修科目名 |
|  |  |  |  |
| ロ．短期大学又は高等専門学校において履修 |
| 学校名 | 学科名 | 卒業年 | 履修科目名 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ロ．講習会等の過程を終了 |
| 講習会等実施機関名 | 受講期間 | 講習会（コース）名 |
|  |  |  |
| ニ．その他の方法で終了　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

注（イ）(1)の氏名は姓と名を分離して記入し、ふりがなを付ける。

　（ロ）(3)の職名は下記の該当する現職の分類記号を一つだけ選び番号を記入するとともに具体的

名称を記入する。

①社長又は代表取締役

②取締役

③事業部長

④工場長

⑤品質管理担当部長

⑥その他の部長

⑦品質管理担当課長

⑧その他の課長

⑨その他（係長又は主任等）

　（ハ）(4)の最終学歴は下記の該当する最終学歴の分類番号を記入する。（分類が不明の場合は、名

称を記入してもよい。）

①大学卒業

②短期大学・高等専門学校卒業

③高等学校・中学校卒業等

　（ニ）(5)及び(6)の経歴は申請に係る企業に限らず他の企業における経歴も含めて実務経験が該当

すると思われるものすべてを記入し、通算した経験年数を記入する。

（ホ）(7)の履修科目名は品質管理に関する科目名のみを記入する。

（へ）(7)のニ．の欄は具体的内容を記入する。